学校番号	2004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校　地学（啓林館）						
副教材等	センサー地学 3rd Edition（啓林館） 新課程　二訂版　スクエア最新図説地学　二訂版（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学では、地学基礎で身に付けた知識や地球の問題について科学的に考える力をさらに広く・深くすることを目標に学習します。地学で学んだ地球観・宇宙観を活用して、持続可能な地球のあるべき姿や、自然災害への対応を含め、これからの地球について主体的に考えて行動できるようになってください。

2　学習の到達目標

(1)「エネルギー」「密度」「循環」の３つのキーワードを軸に地球のすがた、地球の概観、地球の活動、地球の歴史、宇宙の構造について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 日本の地学的な特徴とその原因となる形成史を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など「自然環境と人間生活との関わり」について探究する力を養う。また、地球史と宇宙史について学習した知識を活用して、「これからの地球」について探究する力を養う。

(3)地球環境の変化の仕組みを理解するとともに、それらの現象と人間生活との関わりについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする力を養い、「自然環境の保全に寄与する態度」を身に付ける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地球の概観	A 地球の概観 ①地球の形と重力 ②地球の磁気 ③地球の内部構造 ④地球内部の状態と物質 ⑤アイソスタシー ⑥【探究】地震波から読み取る現在の地下と未来の地表	a:地球の概観の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:現在の地球の内部構造と未来の地表の様子について、地震波の観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 c: 地球の概観に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 振り返り
	地球の活動	B 地球の活動 ①プレートテクトニクス ②地震と地殻変動 ③火成活動 ④火成岩 ⑤地表の変化 ⑥堆積岩 ⑦変成作用 ⑧変成岩 ⑨【探究】岩石から読み取る大地の変動	a:地球の活動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:大地の変動について、岩石の観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 c: 地球の活動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 振り返り
	大気と海洋	C 大気の構造と運動 ①大気の構造 ②地球のエネルギー ③太陽のエネルギー ④大気の循環 ⑤日本の気象 ⑥世界の気象 D 海洋と海水の運動 ①海水温分布 ②塩分分布 ③海水の循環 ④大気と海洋の相互作用 ⑤エルニーニョ・南方振動 ⑥【探究】世界の気候と文化	a: 大気と海洋の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:世界の気候と文化について、データを読み取り活用して探究し、科学的に考察し表現している。 c: 大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 探究発表	発表 振り返り

後期	日本列島の成り立ち	E 日本列島の歴史と特徴 ①島弧-海溝系 ②フィリピン海プレート ③付加体 ④脊梁山脈 ⑤日本海の成り立ち ⑥中央構造線 ⑦琵琶湖と列島のくびれ ⑧地下資源 ⑨【探究】日本列島の地質と地域文化	a: 日本列島の歴史と特徴の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 日本列島の地質と文化の関係について、データを読み取り活用して探究し、科学的に考察し、表現している。 c: 日本列島の歴史と特徴に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 探究発表	発表 振り返り
	宇宙の構造と歴史	F 宇宙の構造と歴史 ①星の明るさとスペクトル ②恒星の進化と HR 図 ③銀河系 ④銀河の種類と分布 ⑤素粒子 ⑥ハッブルの法則 ⑦【探究】ハッブルの法則を用いて宇宙の歴史を探る	a: 宇宙の構造と歴史の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 宇宙の構造と歴史について、観察を通して得られたデータを活用して探究し、科学的に考察し、表現している。 c: 宇宙の構造と歴史に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 振り返り
	太陽系と地球の歴史	G 太陽系 ①太陽系の誕生 ②地球型惑星 ③木星型惑星とその衛星 ④太陽系小天体 ⑤ハビタブルゾーン H 地球の歴史 ①地質時代 ②地球の誕生 ③古生物の変遷 ④地層の読み方 ⑤【探究】鳳高校付近の成立	a: 太陽系と地球の歴史の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:今まさに自分が授業を受けている大地がどのようにして成立したか、これまでの全ての学びを活用して科学的に考察し、表現している。 c: 太陽系と地球の歴史に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発表	発表 振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度